

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-3	政策名	生涯学習の推進	政策の 目指す姿	生涯を通して学び、広い視野 を持ち、活動しています	施策 主管課	生涯学習課	施策主管 課長名	中村光一
	施策No.	1	施策名	自主的学習の推進	施策の 目指す姿	自主的な生涯学習活動を活 発に行っています	関係課名			
	現状と課題	・市民一人ひとりのライフスタイルや生活課題が多種多様化しているなかで、市民は心の豊かさや健康で生きがいのある生活を求めている。自己の充実を図る上で、生涯学習に対する関心が高まり、学習活動に対するニーズが多様化しています。 ・近年は、個人の学習や受動型の学習ばかりではなく、地域特性に応じた学習や公共的課題を解決するための学習など、仲間づくりとともに自主的な学習活動へと広がりをみせています。 ・高齢者の生きがいづくりや社会参加への支援が課題になっている一方で、中高年の貴重な知識・経験を生かした地域の生涯学習や市民活動の担い手としての役割が期待されています。 ・生涯学習活動の場となっている施設の老朽化が進行しています。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1)学習機会の充実 ○生涯学習講座の充実 ・高齢者学級 ○地域の身近な学習資源を活用した講座の開設 ・市民講座 (2)自主的な生涯学習活動の支援 ○生涯学習支援情報の提供 ・ホームページによる講座等の発信 ○生涯学習講師の派遣 ・ふれあい出前講座 ○図書館資料の充実と子ども読書活動の推進 ・ブックスタート事業 ○生涯学習施設の整備や機能充実 ・新花巻図書館整備事業

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
					生涯学習講師新規登録者数	学んだことを地域で実践することを示す指標 行為としての生涯学習から前向きに関心を持って積極的に物事にかかわり、結果として住みよい地域社会が形成される。	出典:生涯学習課 算出方法:市に登録している年度当初の生涯学習講師登録者のうち、新規に登録した講師の人数	人	目標値	
				実績値	23	—	12	14	13	11
市民一人当たりの図書貸出数	市民の自主的な学習活動の取り組み状況を把握するため、生涯学習の主要施設である図書館の利用状況を示す指標	岩手県立図書館が毎年行う「県内図書館・公民館図書室等実態調査」 毎年度の貸出総冊数(団体貸出を除く)と人口を基に算出する。	冊	目標値				5.0	5.0	5.0
				実績値	4.3	3.9	3.7	3.5	3.6	3.4

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	■成果指標「生涯学習講師新規登録者数」・・・【達成度c】 ・学習成果を地域社会に還元する意識が希薄となっていることや技術習得しても講師として教えることに不安を持っていることから、新規登録者が少なくなっていると考えられる。 ■成果指標「市民一人当たりの図書貸出数」・・・【達成度c】 ・市民一人当たりの図書貸出数は減少し停滞している。近隣に新しい図書館が開館したこと(紫波)や、花巻図書館が老朽化しているため利用者が減少したと予想される。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	生涯学習講座開催事業	生涯学習課	A	B
	富士大学花巻市民セミナー、岩手大学教育学部出前講座、高齢者学級、女性学級、市民講座などを開催(316講座)			
2	生涯学習活動支援事業	生涯学習課	A	C
	ふれあい出前講座の開催、生涯学習フェアまなび学園祭の開催(ふれあい出前講座428回)			
3	視聴覚教育推進事業	花巻図書館	A	B
	視聴覚資料の活用を推進するため、各種映画会の開催や各種団体への視聴覚資料の貸出を実施(6,898人)			
4	若者魅力アップセミナー開設事業	生涯学習課	A	A
	若者のコミュニケーション能力の向上と魅力アップを図るための講座を開催(講座6回開催)			
5	読書活動推進事業	花巻図書館	B	B
	ブックスタート事業、読み聞かせの開催(読み聞かせ138回開催)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

- ・世代や多様化するニーズに対応する講座の開設
- ・新花巻図書館整備に向けた計画の再構築

(新たに取り組むべき事業はないか)

- ・読書推進のため、借りた図書を記録する「読書おもいで帳」の発行

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・若い世代の講座への参加が少ない
- ・子ども映画会やブックスタートは、少子化などの影響もあり、参加者数が伸び悩み傾向にある。

(今後の方向性)

- ・既存の講座内容の見直しをしながら若い世代や多様化するニーズに応じた講座の充実を図る。
- ・新規参加者の増加を図るため広報活動を強化する。
- ・図書館は利用者アンケート等による改善を図りつつ、新花巻図書館整備に向けて基本構想、基本計画の策定を進める。